



学校だより

園里っ子

須坂市立豊丘小学校
平成30年11月26日
文責：原

☆なかよし月間(～30日)

「なかよし月間」ということで、いろいろな活動が行われました。一部を紹介します。

①なかよし集会



代表委員会が中心になって「猛獣狩りに行こうよ」というゲームで楽しみました。

②姉妹学年による読み聞かせ



この写真は、5年生が2年生に絵本の読み聞かせをしているところです。読む方も一生懸命ですが、聞いてくれる2年生もしっかり耳を傾けてくれました。

③なかよしの木



友だちに対して相手のいいところや感謝の気持ちなどをカードに記入して貼っています。周りには姉妹学級の友だちからのメッセージが貼られています。

友だちに対して相手のいいところや感謝の気持ちなどをカードに記入して貼っています。周りには姉妹学級の友だちからのメッセージが貼られています。

④開放参観日・PTA講演会【11月20日(火)】

たくさんの保護者・地域の皆さんに参観していただいた授業参観。ありがとうございました。各クラス、様々な角度から“人権”について考える内容になっていたのではないかと思います。人権教育については、この期間にかかわらず、日々の生活の中でも大事にしています。私たちが気づかないことで何か心配な点がありましたら、学校までご連絡いただくとありがたいです。



授業参観の後は、PTA主催の講演会でした。今年度は講師に宮崎美紀先生(交流分析士インストラクター)をお迎えして、「なりたい自分になる魔法の質問」という演題で講演会を行いました。4～6年生も参加して一緒にお話を聞きました。まずは、今、叶えたい夢を書き出しました。そして、その夢を叶えるためにできることを考えました。宮崎先生のお話の中で、夢を叶える攻略法が4つありました。

①無意識を味方にする。できると思ってやるのか、無理っと思ってやるかでは発揮できる力が違う。②イメージを持つ。無意識の部分を意識化させる。③悩んだりつらいときは誰かに話すこと。話すことでマイナスな気持ちが減っていく。④お互いに認め合うこと。相手をどんどん褒めてあげる。相手を褒めてあげると自分にもどってくる。

宮崎先生から宿題が出ました。①お友だちを10個ほめる②おうちの人を10個ほめる③おうちの人に10個ほめてもらう、の3つです。これからでもいいので、③を是非お願いします。

最後に、サッカー選手の本田圭佑さんの小学校の卒業文集「将来の夢」を紹介してくださいました。

「ぼくは大人になったら、世界一のサッカー選手になりたいと言うよりなる。世界一になるためには世界一練習しないとダメだ。(中略)Wカップで有名になって、ぼくは外国から呼ばれて、ヨーロッパのセリエAに入団します。そして、レギュラーになって10番で活躍します。(後略)」

夢ですが、すべて断定で書いてある、これが言葉の力でしょうか。



⑤校長講話 「どんなかんじかなあ」

11月14日の校長講話では、「どんなかんじかなあ」（中山千夏：文）の絵本の読み聞かせをしました。

【お話の概要】

ひろくんの友達のまりちゃんは、目が見えません。ひろくんは、目が見えないってどんな感じかなあと思い、しばらく目をつぶってみます。すると、色々な音が聞こえてきます。そして、まりちゃんに会った時に、「見えないってすごいだね」と、体験したことを語ります。まりちゃんは笑って、「ひろくんって、変わってる」と言います。



もうひとりの友達、さのくんは、耳が聞こえません。ひろくんは、聞こえないってどんな感じかなあと思い、しばらく耳をふさいでみます。すると、ひろくんは、お母さんの顔のほくろの数を初めて知ります。そして、さのくんに会った時、「聞こえないってすごいだね」と、体験したことを語ります。さのくんは、「ひろくん、考えすぎー」とふきだします。

別の友達のきみちゃんは、お父さんもお母さんもいません。ひろくんは、それがどんな感じかなあと思い、一生懸命考えますが、わかりません。そして、きみちゃんがきた時に、「きつと、すごく寂しいんだろうね」と聞いてみます。きみちゃんは、ちょっと考えてから「そうでもないよ」と言います。そして、次の日曜に、きみちゃんがひろくんのもとにきて、1日じっと動かないでみたと言います。ひろくんは、どんな感じだったか聞きます。きみちゃんは、「じっとして空を見ていたら、いつもの100倍くらい、色んなことを考えたし、わかったこともたくさんあった」と言います。きみちゃんは、ひろくんのことを学者みたいだと褒めます。ひろくんは、照れくさくて笑います。今日もひろくんは、いつものように考えます。宇宙のこと、分子のこと、古代のこと……。それから、動けるってどんな感じかなあとも。

（読み聞かせの後で）まるっきりその人の気持ちになることはできなくても、「どんなかんじかなあ」って想像することはできますね、それはとても大切なことです。目が見えない代わりに目をつぶってみたり、耳が聞こえない代わりに耳栓を試してみたり。そうすることでいろんな音が聞こえたり、見えてなかったものが見えたりします。相手のことを考える、それが想像することです。「どんなかんじかな」と想像することで、自分の心も相手の心も大切にできる力を身に付けてほしいです。お友だちのことを考えることができる人になってください。

児童の感想より

- ・おとうさんとおかあさんがいなくなったらどうしようとおもいました。（1年生）
- ・ひろくんはくるまいすせいかつがどんなのか かんじてみたいです。（1年生）
- ・みんながみんな同じではない。だから近づこうとして想ぞうできる。みんな一人一人のこせいがあるから相手のことを考えるのは、いいことだと思う。（4年生）
- ・ほかの人にはなれないけど、近づこうとすることが大事。ひろくんは、少しでも近づこうとしたから、私も少しでも近づきたい。（4年生）
- ・私は、一人一人違うことをすごいと思いました。（中略）聴こえる見えるは、私にとってふつうのことだけど、実際にやってみると、とても不思議に思いました。一人一人違うことを大切にしたいです。（5年生）
- ・わたしは、人の気持ちを考えて生活したいと思いました。（中略）わたしも友だちのよいところを見つけたり、相手がいやがることをしないようにしたいです。この話を聞いておたがいに人の気持ちを考えて生活したいと思いました。（5年生）

◎最初にこの絵本を読んだとき、最後にひろくんが車いす生活を送っていることにビックリしました。絵本ですが、低学年にはすこし難しい内容でした。でも、その学年なりに受けとめてくれたように思います。大人が読んでも、深く考えさせられます。

この絵本は、須坂市よりいただいた絵本です。他にも「となりのしげちゃん」「ふしぎなともだち」という絵本をいただきました。図書室においておくので、直接手に取り、読んでほしいです。